



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずかわぜ

都立花畑学園

第 6 号

R 8 / 9 / 1 発行



花畑学園の学校だより

一人一人の根っこを伸ばそう

校長 永島 崇子

日頃より本校の教育活動に御理解御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、「令和8年熊本地震」「令和8年8月千葉豪雨」で被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた皆様の御冥福をお祈り申し上げます。今、私たちができることは何か、心を寄せて、できることを考え行動していきたいと思います。

夏季休業日中には、初めての試みとして都立足立特別支援学校の進路専任の先生方をお招きして、特に知的障害教育部門高等部での学習や生活、進路に向けた指導や学園の卒業生の状況などを、映像も交えて一緒に学ぶ機会を設けました。その中で、高等部での3年間で「知る・考える・決める」というキーワードを提示され、自己選択・自己決定を目指す進路指導に取り組まれていることを伺いました。そのためには小学部・中学部の生活の中で、少しずつ積み上げていき、一人一人の根っこをより長く・広範囲に広げていくことが大切だと思いました。この夏開催された関東肢体不自由特別支援学校PTA連合会東京大会でも、当事者で医療者でもある東京大学の熊谷晋一郎先生が「自立とはマルチ・ディペンデント（依存先をたくさん持つ）」と御示唆いただきました。児童・生徒一人一人の違いを認め、もっている力をさらに伸ばしていくことや様々な人や物と関わる力を付けていくこと、学校という場所でリアルに経験していくことの大切さを再認識し、日々の指導・支援に生かしていきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

【水泳指導】 主幹教諭 後藤 美由紀

6月から始まった水泳指導では、水に入った瞬間、「冷た〜い!」という声が聞こえていましたが、数分後には、楽しそうな笑い声に変わっていました。水慣れのため、水中で歩いたり水かけを楽しんだり、水の中で体を動かし、流れを感じ、存分に楽しんでいます。水に慣れ、リラックスした様子で体を動かすことで、心身の成長にもつながっています。

プールでの活動を行うために、水着等の準備やプールカードの記入に御協力いただき、ありがとうございました。引き続き御協力のほど、よろしくお願いいたします。

9月以降も様々な行事・活動に取り組んでいきます。心身ともに豊かに成長できるよう、今後も御家庭の皆様と一緒に、子供たちの成長を見守り、教職員一同で、支援してまいります。

【自立活動部より】 自立活動部教諭 池田 晋一

本校では、自立活動部に3名の教員が所属しており、個々の児童・生徒に対して担任と連携して自立活動の指導に当たっています。また、外部専門員と連携し、児童・生徒の実態を把握し、心身の状態や発達段階に応じて、適切な指導に繋げるようにしています。

自立活動の指導に当たって最も大切にしている点は、子供たちの将来を見据え、卒業後に必要な能力や態度を養うことにあります。そのため、自立活動で扱う教材や教具は、子供たち一人一人の興味・関心があるものを見出し、子供たち自身が自発的で深い学びが得られるよう心掛けています。本校の自立活動の授業では、視線入力装置や電動式移動アシスト装置(AKKA Smart)のようなICT機器や、姿勢保持やバランス・感覚刺激を目的とする支援具(スパイダー)の活用も積極的に取り入れており、個に応じた多様な方法と工夫を図っています。